

創立71周年

令和3年度 12月号



# 咲かせよう大正の花

## つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



### 真似から学ぶこと

園長 北村 恵

早いもので令和3年も残りひと月となりました。10月、11月はスクールバスや徒歩で遠足に行くことができました。少しずつですが、以前のような日々が戻ってきたような気がします。しかし、また、南アフリカで感染力の強い変異株が出てきているということでニュースになっています。本園でも、急に寒くなってきたこともあり、風邪をひいたり突然高熱が出たりするようなお子さんも見られます。引き続き子供たちに、丁寧ながい手洗いを指導しながら、終業式までの日々を元気に過ごしていきたいと思えます。

先日、年長児が金竜幼稚園のビオトープにお邪魔し、金竜幼稚園、根岸幼稚園の年長児と一緒に落ち葉を拾ったり様々な草木に触れたりしてきました。Aちゃんが、イチヨウの葉をたくさん拾い、1枚ずつ重ねて、ブーケのようなものを作りました。それを見ていたBちゃんも「どうやって作ったの?」と聞いて、同じ様なものを作り始めました。Cちゃんは、イチヨウの葉のブーケの周りにヘクソカズラの実が付いた蔓を巻き付けたり、ネコジャランを一緒にしたりしています。誰かが作ったものを「素敵だな」と感じ「私もやってみたい」と思い「どうやって作るの?」と聞いたり、「もっと違うものを作ってみよう」としたりすることは子供たちの学びを支える大切な力だと思えます。

先月も書きましたが、今年度も2学期に2回の和太鼓ワークショップを行い、3学年すべての子供たちが和太鼓に触れることができました。何年か続けてきていることもあり、年長の子供たちは太鼓に向かうと自然と構えの姿勢が取れるようになってきています。昨年、70周年記念式典で披露した、年長児による和太鼓での「キッズソーラン」は、大正幼稚園が運動会で長年踊り継いできている曲なので、子供たちにとって馴染みがあります。それでも、昨年度は太鼓のリズムや振りを入れるのに何日かかかりました。今年も年長児に和太鼓で挑戦してもらいましたが、今年は1時間で1曲を全部通すことができてしまい驚きました。きっとそれは、昨年の年長児の姿をしっかり見ていたおかげだと思われそうです。

先日、大正小学校の学芸会のリハーサルを見に行ったあと、うさぎ組の子供たちが劇のセリフの「おむすびころりん、すっとんとん」といったり、「お腹すかない?」「ないない」と掛け合いで言ったりする姿も見られました。ねずみのしっぽを先生が出しておくとお早ねずみになって遊んでいます。

子供は真似っ子の天才ですが、それも学習するための大切な力です。よく考えてみたら人間は、赤ちゃんの時から、大人の真似をしながら言葉を覚えたり、スプーンやフォークを使って自分でご飯を食べるようになってきたりするのは、大人はついつい真似ではないオリジナリティーのあるものを子供にも求めがちですが、真似をする姿も大切に認めていきたいと思えます。

今月中に、保護者の皆様には今年度の大正幼稚園の教育保育についての評価アンケートをお願いする予定です。ぜひ、皆様忌憚のないご意見をお聞かせください。

地域の皆様、保護者の皆様、関係諸機関の皆様のおかげで、2学期も子供たちが伸び伸びと園生活を送ることができました。本園の教育保育へのご理解ご協力ありがとうございました。